

レセプト・健診データを用いた 薬剤処方実態及びアドヒアランスの研究に関して

東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座は、健康保険組合加入者のレセプト・健診データベースを用いた二次解析を行っております。

【研究課題】

レセプト・健診データを用いた薬剤処方実態及びアドヒアランスの評価
(審査番号： 2019070NI)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

主任研究機関	東京大学大学院医学系研究科	医療品質評価学講座
研究責任者	東京大学大学院医学系研究科	医療品質評価学講座 特任准教授 隈丸 拓 (代表研究責任者)
担当業務	研究プロトコル作成、データ解析、解釈、論文作成	

【共同研究機関】

研究機関	慶應義塾大学医学部		
研究責任者	慶應義塾大学医学部	専任講師	香坂 俊
担当業務	解釈、デザイン監修		

【研究期間】

2019年7月8日 ～ 2022年3月31日

【研究の意義】

糖尿病・高脂血症・高血圧などの生活習慣病に起因する脳血管、心血管病は、国内における死因の上位を占めています。継続的な投薬治療は重篤な疾患発症の予防において最も効果的な手段の一つです。また、近年では、レセプトデータや健診データの利活用により、大規模集団での研究が可能になりました。しかしながら、国内においてこれらのデータから得られた医学的根拠は、未だ不足しています。

【研究の目的】

本研究では株式会社 JMDC (以下 JMDC) が保有する、匿名加工された企業の健康保険組合加入者のレセプト及び健診データを用いて、アドヒアランスの評価及び、薬剤の処方実態を明らかにすることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。JMDC の保有する、企業の健康保険組合に加入している本人とご家族の診療報酬請求データ (以下レセプトデータ) と健診データを用いて、薬剤の処方パターンの解析や、アドヒアランスと処方パターンとの関連

などを分析します。JMDC からは匿名化された電子レセプト・健診情報が記録媒体に保存された形で提供されます。データには、具体的には、加入者情報（年齢、性別）、診療情報（診療年月、傷病名、診療種別、投薬、請求点数）、調剤情報（調剤年月、調剤医薬品名、請求点数）、健診情報（身長体重、血圧、血液検査値、飲酒・喫煙歴など）などが含まれます。

【個人情報の保護】

情報は、各企業の設置する健康保険組合の情報で、そのうちの一部企業から JMDC へ情報が登録されています。当講座に提供されるデータには氏名、住所、医療機関名などの個人を識別する情報は含まれません。データは、JMDC 内で各加入者番号に新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当講座に提供されます。当講座においても、符号を元の氏名等に戻すことはできませんし、容易に個人を特定することもできません。

JMDC から提供され、当講座で解析されるデータは、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。JMDC から当講座へは記録媒体に保存された形でデータが提供され、解析担当者のパスワードロックをかけた解析用パソコンで厳重に保管されます。データ移動後、データはデータ移動に用いた記録媒体からただちに消去します。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会発表や論文の形で公開されます。使用したデータは厳重な管理のもと、解析終了後に消去されます。

この研究に使用するデータの購入には、公的機関からの資金（①研究課題名：SS-MIX2 を基礎とした大規模診療データの収集と利活用に関する研究 [国立研究開発法人日本医療研究開発機構]、研究代表者名：山本隆一 ②研究課題名：研究成果展開事業リサーチコンプレックス推進プログラム 融合研究を支えるデータサイエンス基盤形成ならびに人材育成プログラムの整備 [国立研究開発法人科学技術振興機構]、研究代表者名：宮田裕章）から支出されます。研究の費用に関する情報はすべて東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

2019年7月

【問い合わせ先】

東京大学医療品質評価学講座 特任准教授 隈丸 拓
住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-5800-9121 FAX：03-5800-9121
Eメールでのお問い合わせ：hqa-adm@umin.ac.jp